

2022年3月期  
決算プレゼンテーション資料

2022年5月

# 目次

---

<b>0 1</b>	IT金融グループに向けた取り組み・方針	03 - 09
<b>0 2</b>	決算概況	10 - 16
<b>0 3</b>	アイフル決算概況	17 - 29
<b>0 4</b>	ライフカード決算概況	30 - 36
<b>0 5</b>	グループ各社の決算概況	37 - 40
<b>0 6</b>	参考資料	41 - 47

01

# IT金融グループに向けた 取り組み・方針

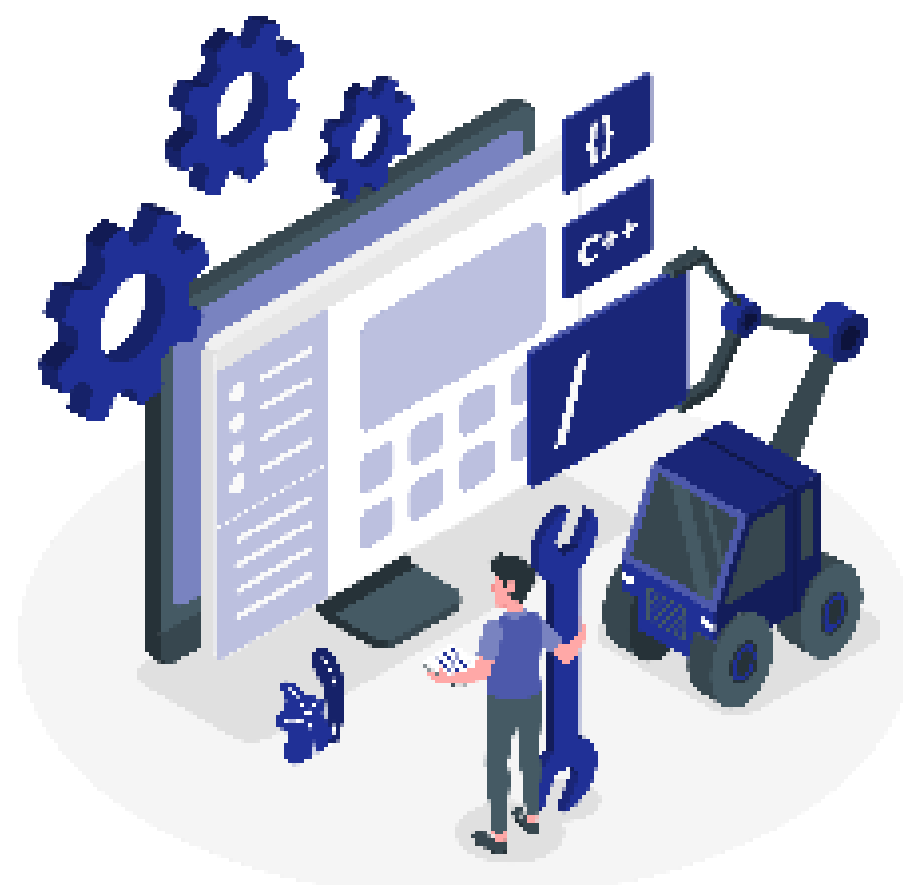
環境変化に応じた組織・制度の変革と  
デジタル技術の活用により、

**IT金融グループ**として成長を遂げる。

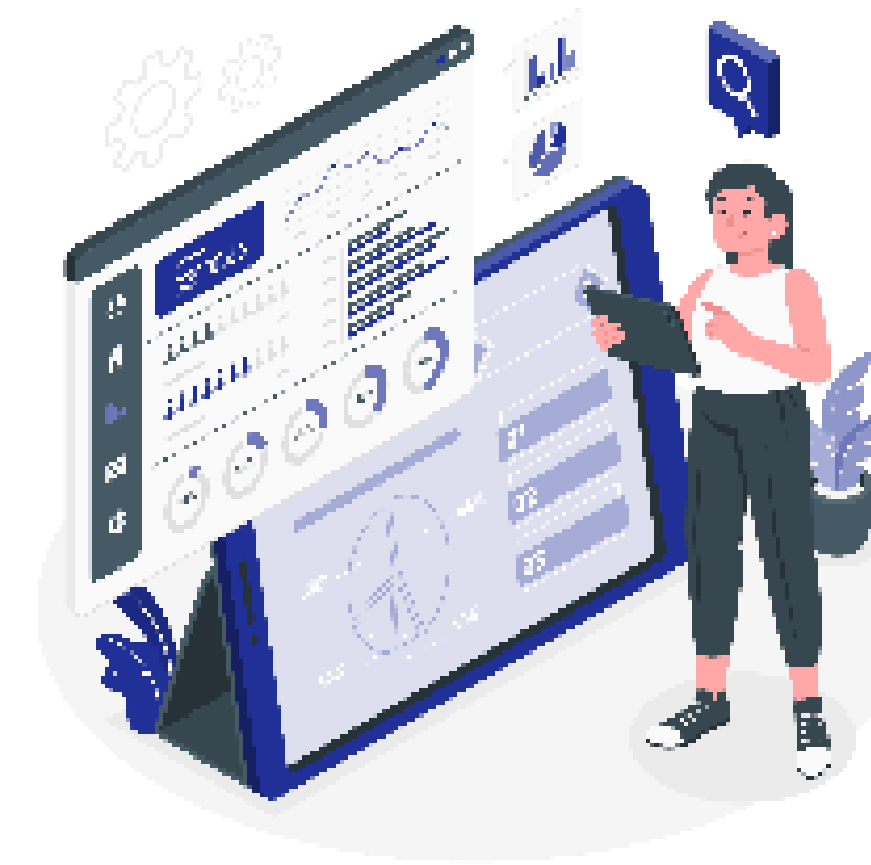
IT金融グループに必要な3つのスキル



デザイン



デジタル推進



データ分析

# 内製化による実績・効果（アイフル）

## スピーディーでキメ細やかなアプリの改修

（アプリの改修回数）

2020年4月～2021年3月 計 20回

2021年4月～2022年3月 計 49回

## アプリのストア表示評価の改善

（アプリの評価）

2020年4月

2022年3月

iOS

★ 2.7

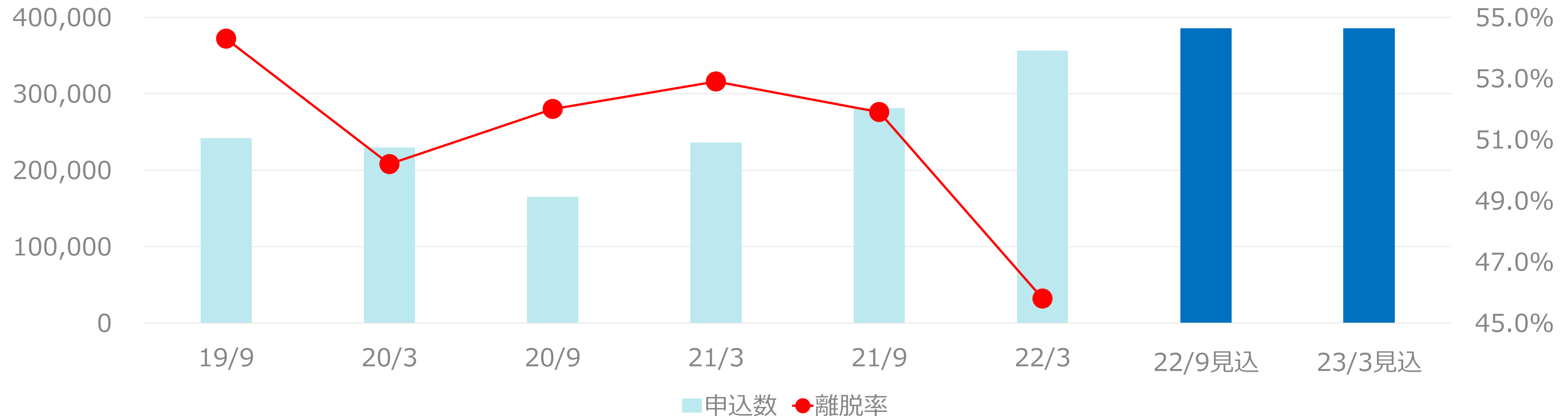
★ 4.6↑

Android

★ 3.7

★ 4.5↑

## 申込フォーム改修による離脱率の改善と申込数の推移



# アイフルグループにおける安全性・収益性・成長性の指標

		指標	2022年3月末時点
安全性	自己資本比率	20%	16.4%
	ROE	10%超	8.2%
収益性	ROA	2%超	1.4%
	営業アセット	年間 10%成長	前期比 +8.7% (8,874億円)



# 2022年3月期 トピックス

## 1Q

### Life CARD Live Active® Visa Card



### Life CARD Sun Chlorella Card



### 非対面完結

AIRA&AIFULにおいて、銀行自動引落と入出金のカードレス化を開始。さらにe-KYCが認可されたことで、与信から入金まで非対面での完結が可能。



## 2Q

### AGメディカル営業開始

7月より営業を開始。アイフルビジネスファイナンス株式会社より診療報酬等担保ローン事業を承継。

**AG MEDICAL**

### 後払いチャージサービス

AGミライバライにて新サービス「後払いチャージサービス」を開始。



### クラウドファンディング事業開始

AGクラウドファンディング株式会社を設立し2021年9月3日より事業を開始。

**AG Crowd Funding**

### R&I格上げ

株式会社格付投資情報センター（R&I）の信用格付けが2ノッチアップのBBB-に格上げとなる（10月13日付）。

## 3Q

### 「プライム市場」移行の決定

株式会社東京証券取引所より2022年1月11日付で新市場区分の選択結果が公表され、同年4月4日よりプライム市場に移行することが決定。



### 利用先限定デポジットカード



### JCR格上げ

株式会社日本格付研究所（JCR）の信用格付けが2ノッチアップのBBBに格上げとなる（12月24日付）。

## 4Q

### CM好感度4カ月連続NO.1

「和尚女将篇」「最強女将篇」をリリースし、12月から4カ月連続で金融業界1位を獲得。3月には全業種総合13位を獲得し、前年度比で1.3倍のCM好感度を記録。



### 不動産担保ローンファンド販売開始

AGクラウドファンディングにおいて、2022年3月8日に不動産担保ローンファンドの第一号案件を公開。



### 「ライフカードビジネス」WEBでの申し込み・審査を開始



For Colorful Life. 自分の色が輝く社会に。



# サステナビリティへの取り組み



## タイ王国にてプログラミング教室を開催

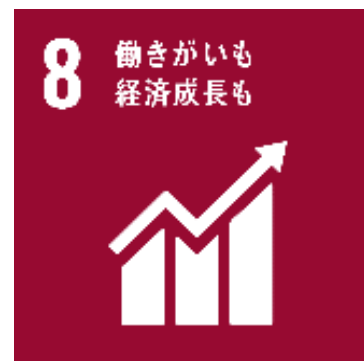
- 2022年3月15日に中学生向けのプログラミング教室を開催



## 業務効率化

- 2019年4月よりアイフルグループ全体へのRPA展開を開始。業務効率化を通じて、残業時間およびエネルギー使用量の削減を図る

期間	削減見込時間
2019/4~2020/3	11,617時間
2020/4~2021/3	11,209時間
2021/4~2022/3	6,793時間
累計削減見込時間	29,619時間



## 従業員エンゲージメント向上

- スマホからも閲覧できるマルチポータルを内製し社内報や社内情報を速やかに連携
- 職場見学会を実施し、従業員のご家族にも当社を知っていただく機会を設ける



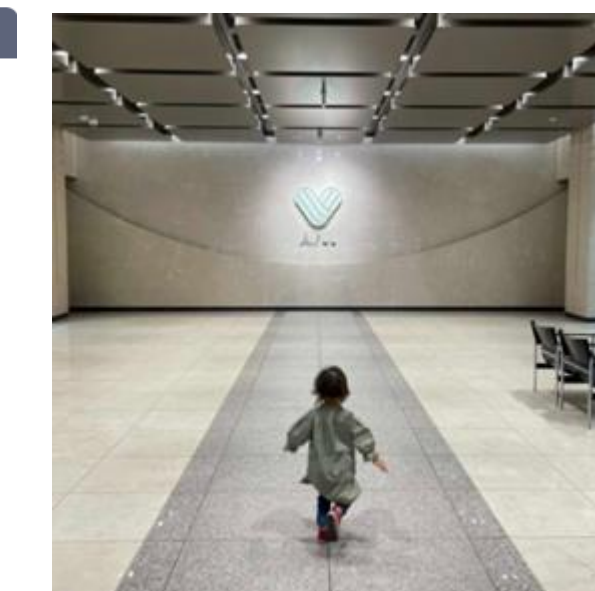
Weekly-Topics(2022年3月26日~4月...)

2022年04月01日



Weekly-Topics(2022年3月12日~3月...)

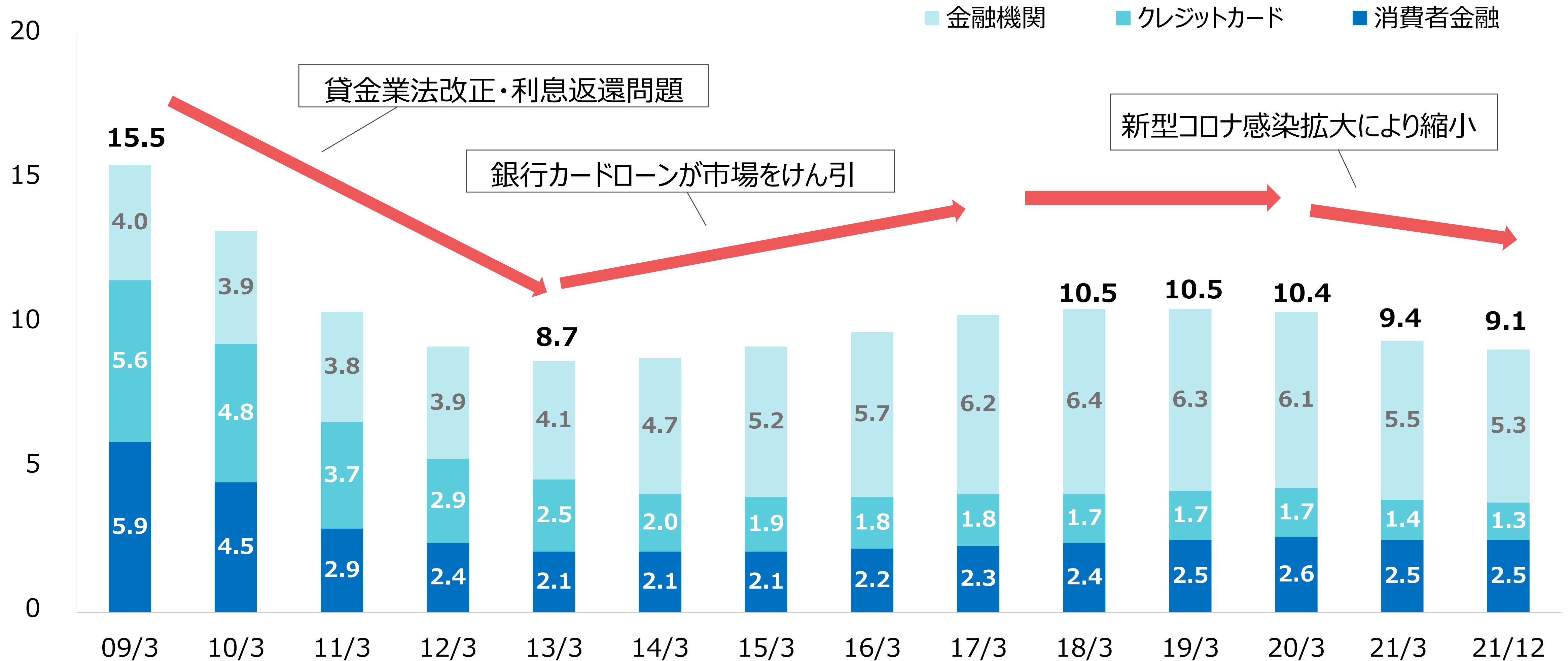
2022年03月18日





# 無担保ローン市場

単位：兆円



※ 消費者金融・クレジットカード：日本貸金業協会統計 金融機関：日本銀行統計（国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高）

## 02 決算概況

## 業績ハイライト（連結）

22/3期

前期末比

営業アセット

8,874億円

+8.7%

ローン

5,823億円

+5.2%

クレジット

1,167億円

+7.4%

保証

1,717億円

+18.9%

## 業績ハイライト（連結）

22/3期

前期比

営業収益

1,320億円

+3.6%

営業利益

112億円

-35.9%

経常利益

122億円

-36.5%

ROA

1.4%

-0.8pt



## 業績ハイライト（無担保ローン・信用保証）

22/3期

前期比

計画比

**新規獲得**  
(単体・無担保ローン)

**210,014件**

**+30.4%**

**+10.5%**

**信用保証残高**

**1,717億円**

**+18.9%**

### 無担保ローン

- オミクロン株により感染者数は増加するも、申込数・新規獲得件数ともに堅調に推移
- 非対面でのスピーディーな審査や申込フォームの改善により、高いコンバージョン率を維持
- 資金需要に応じて適切に広告宣伝費を投下

### 信用保証

- 金融機関のニーズに合わせた商品の提供
- 提携先への積極的なアプローチとサポート体制
- おまとめローンを中心に証書貸付残高が前期比で164億円増加

# 主要数値・通期計画（連結）

- 営業アセット：主力の無担保ローンおよび信用保証事業の残高成長、クレジットカード事業の回復により前期比8.7%増
- 信用保証事業：おまとめローンを中心とした証書貸付（前期比164億円増）が牽引し、前期比18.9%増の1,717億円

単位：百万円	21/3	22/3	前期比増減額	前期比増減率	23/3(E)	前期比増減額	前期比増減率
営業アセット	816,579	887,407	70,828	8.7%	995,300	107,892	12.2%
ローン事業	553,389	582,349	28,959	5.2%	635,900	53,550	9.2%
無担保ローン	481,687	505,255	23,568	4.9%	548,300	43,044	8.5%
有担保ローン	18,281	18,282	1	0.0%	22,400	4,117	22.5%
事業者ローン	53,421	58,810	5,389	10.1%	65,200	6,389	10.9%
クレジット事業	108,714	116,780	8,066	7.4%	143,300	26,519	22.7%
支払承諾見返	145,725	172,697	26,972	18.5%	203,600	30,902	17.9%
信用保証事業	144,428	171,797	27,369	18.9%	203,000	31,202	18.2%
その他	1,297	900	-396	-30.6%	600	-300	-33.4%
営業収益	127,481	132,097	4,616	3.6%	142,600	10,502	8.0%
営業費用	109,950	120,855	10,904	9.9%	118,800	-2,055	-1.7%
営業利益	17,530	11,242	-6,288	-35.9%	23,800	12,557	111.7%
経常利益	19,305	12,265	-7,039	-36.5%	24,000	11,734	95.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	18,437	12,334	-6,103	-33.1%	21,300	8,965	72.7%

# 連結決算概要

- 営業収益：営業貸付金利息および信用保証収益の増加等により、前期比3.6%増の1,320億円
- 営業利益：新型コロナ影響を加味していた貸倒引当金の取り崩しにより、貸倒関連費用は前期比28.1%減の279億円  
一方、利息返還関連費用を計上したため、営業利益は前期比36.0%減の112億円

単位：百万円	21/3	22/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業収益	127,481	132,097	4,616	3.6%
営業貸付金利息	74,041	76,332	2,290	3.1%
信用購入あっせん収益	19,387	20,099	712	3.7%
信用保証収益	14,524	15,730	1,206	8.3%
その他の営業収益	19,528	19,934	406	2.1%
営業費用	109,950	120,855	10,904	9.9%
金融費用	7,248	7,041	-207	-2.9%
利息返還関連費用	-	19,929	-	-
貸倒関連費用	38,818	27,918	-10,899	-28.1%
宣伝関連費用	9,821	14,590	4,768	48.6%
人件費	16,902	16,704	-198	-1.2%
その他の費用	37,158	34,670	-2,488	-6.7%

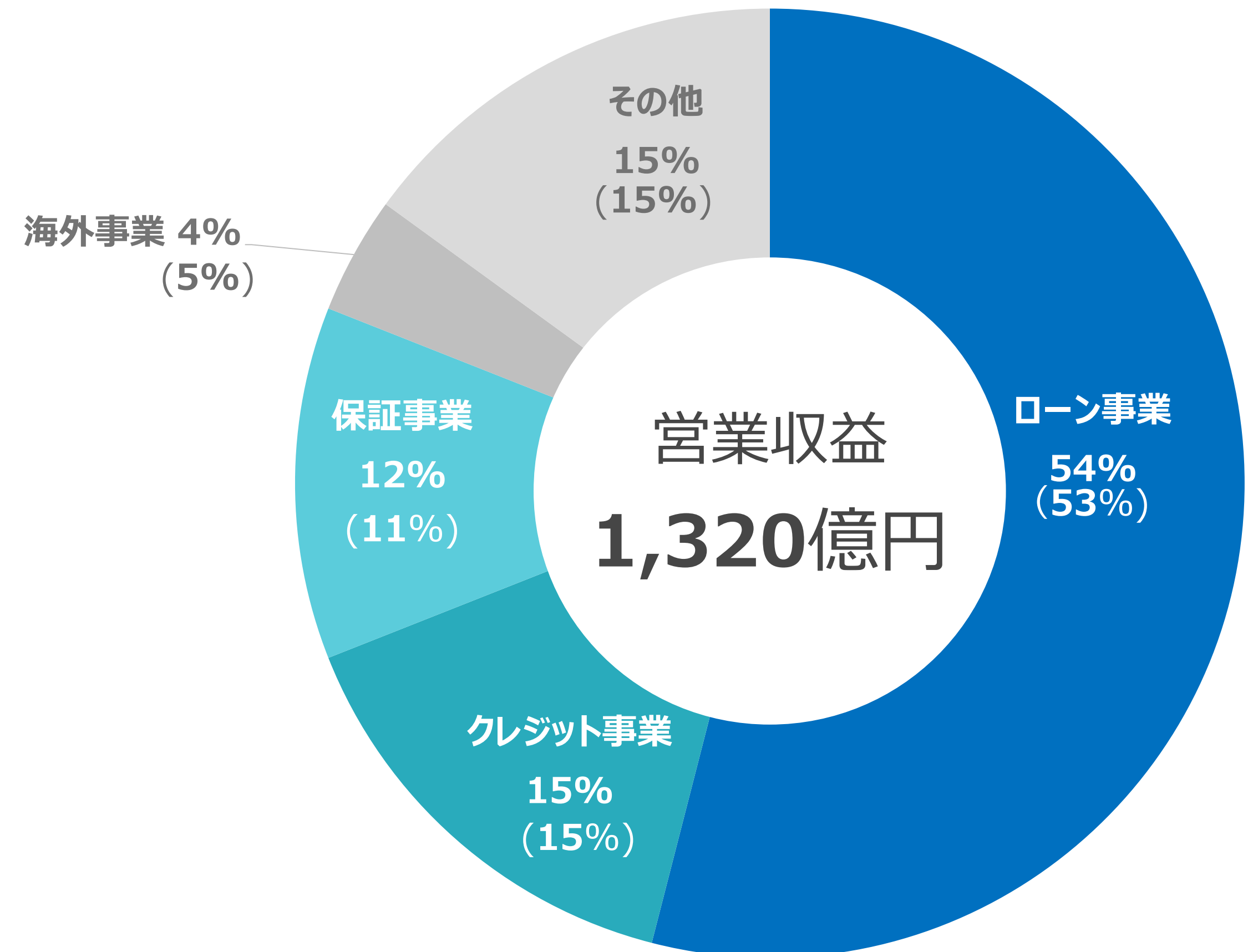
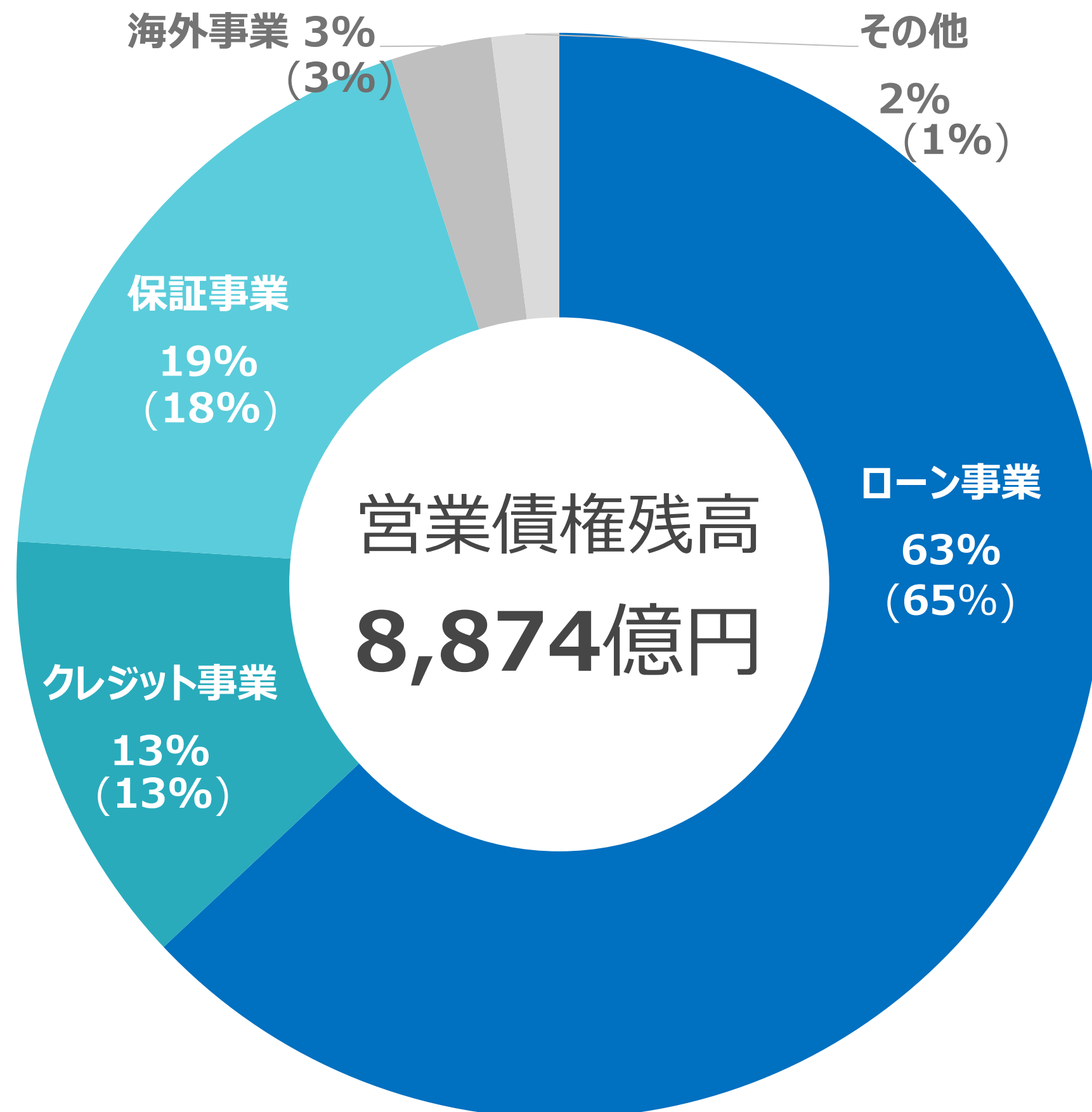
単位：百万円	21/3	22/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業利益	17,530	11,242	-6,288	-35.9%
営業外収益	1,928	1,058	-869	-45.1%
営業外費用	153	35	-118	-77.0%
経常利益	19,305	12,265	-7,039	-36.5%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	1,156	-	-	-
税引前利益	18,149	12,265	-5,883	-32.4%
法人税・住民税 および事業税	2,965	2,602	-362	-12.2%
法人税等調整	-2,610	-3,374	-764	-
非支配株主に帰 属する当期純利 益	-642	703	1,346	-
親会社株主に帰 属する当期純利 益	18,437	12,334	-6,103	-33.1%

# 事業ポートフォリオ

## 【事業ポートフォリオの考え方】

ローン事業に依らない安定的な収益確保を目的とし、保証事業等のフィービジネスやクレジット事業の強化など金融事業の多角化を目指す

- 営業債権残高：信用保証事業が残高2桁成長を背景に、前期比1pt増の19%と事業ポートフォリオの改善が継続
- 営業収益：信用保証収益が8.0%増加した結果、保証事業の占有が前期比1pt増加し12%



※ ()内は前期の比率



## 03 アイフル決算概況

## 営業実績（アイフル単体）

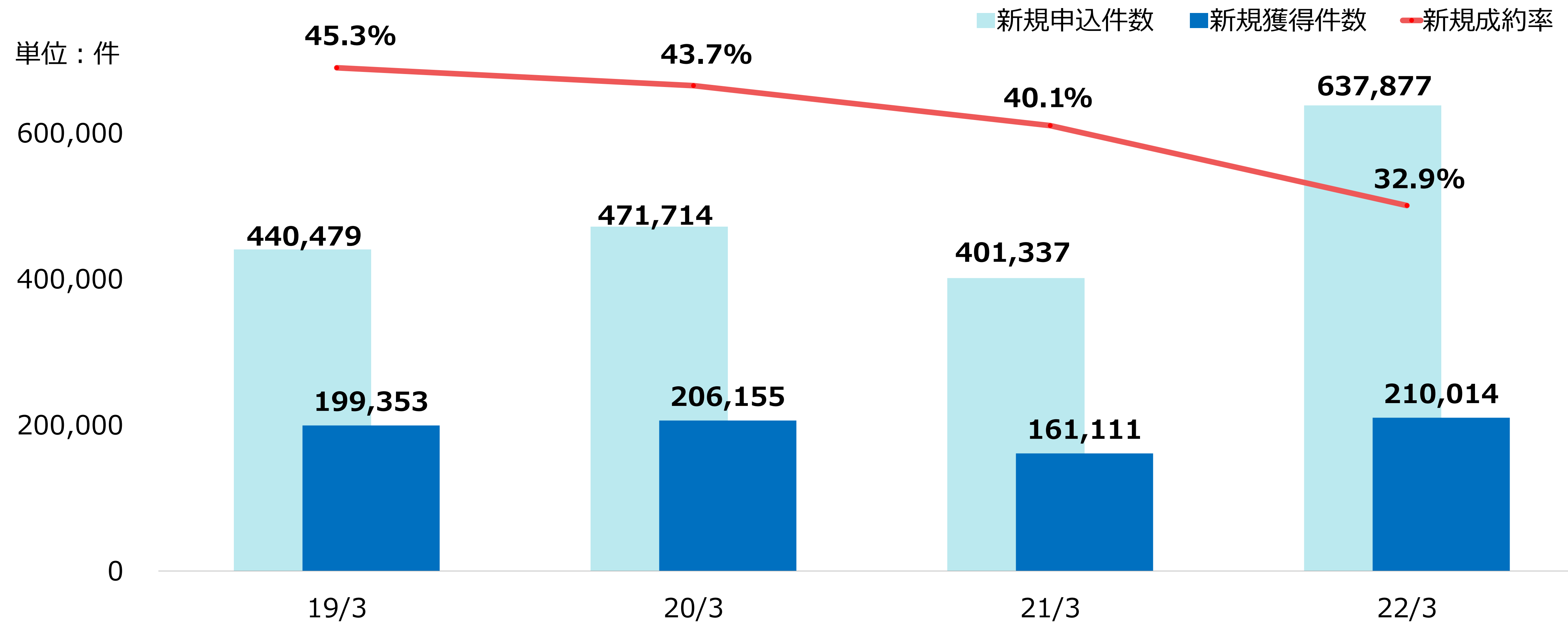
単位：百万円	21/3	22/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業債権残高	572,070	619,388	47,317	8.3%
営業貸付金残高	438,300	461,884	23,584	5.4%
無担保ローン	425,848	449,747	23,899	5.6%
有担保ローン	4,813	3,501	-1,311	-27.3%
事業者ローン	7,638	8,635	996	13.0%
信用保証残高	124,865	147,708	22,842	18.3%
新規顧客数（件）	161,186	210,104	48,918	30.3%
無担保ローン	161,111	210,014	48,903	30.4%
口座数（千件）	933	980	46	5.0%
無担保ローン	922	968	46	5.1%
営業貸付金利回り	14.3%	14.4%	0.1pt	-
無担保ローン18%以下残高占有率	99.1%	99.3%	0.2pt	-
貸倒発生額	22,457	20,521	-1,935	-8.6%
利息返還に係る貸倒以外の貸倒額	21,530	19,797	-1,733	-8.1%
貸倒償却率	3.9%	3.3%	-0.6pt	-
利息返還に係る貸倒以外の貸倒率	3.8%	3.2%	-0.6pt	-

# 決算概要（アイフル単体）

単位：百万円	21/3	22/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業収益	78,826	83,117	4,290	5.4%
営業貸付金利息	59,732	63,071	3,338	5.6%
信用保証収益	11,136	11,447	311	2.8%
営業費用	68,352	78,359	10,006	14.6%
金融費用	5,416	5,421	4	0.1%
貸倒関連費用	29,864	20,701	-9,162	-30.7%
利息返還関連費用	-	17,283	-	-
宣伝関連費用	7,981	9,979	1,998	25.0%
広告宣伝費	2,766	9,644	6,878	248.6%
販売促進費	5,214	335	-4,879	-93.6%
人件費	10,286	9,504	-782	-7.6%
その他費用	14,804	15,469	664	4.5%
営業利益	10,473	4,757	-5,715	-54.6%
営業外収益	1,588	2,014	426	26.8%
営業外費用	87	23	-64	-73.2%
経常利益	11,973	6,748	-5,225	-43.6%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	4,556	-	-	-
当期純利益	9,583	7,912	-1,670	-17.4%

# ローン事業/新規獲得（アイフル単体）

- 新型コロナの影響により資金需要は前期期初に大きく落ち込んだが、前期下期以降回復基調が続く
- また、申込フォームのUI/UX改善や効率的な人員配置を実施
- 結果として、新規申込件数は前期比58.9%増の63.7万件、新規獲得件数は30.4%増の21.0万件



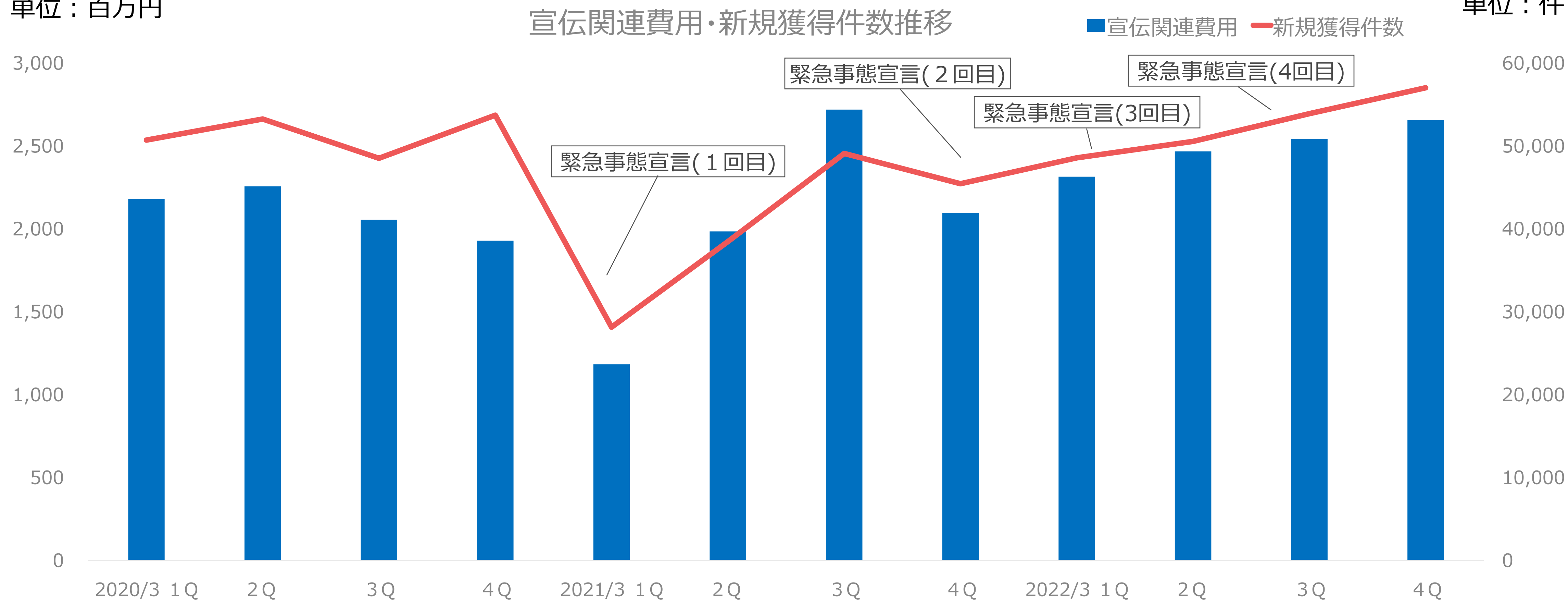


# ローン事業/新型コロナ影響下の宣伝関連費用と新規獲得の相関（アイフル単体）

- 宣伝関連費用の投下量と新規獲得件数は相関関係にある
- 緊急事態宣言等新型コロナ影響を加味し、市場環境の動きに合わせた適切な宣伝関連費用の投下を実施
- 2021年3月期第3四半期以降積極的な費用投下を行ったことにより、新規獲得件数はコロナ前の水準に回復

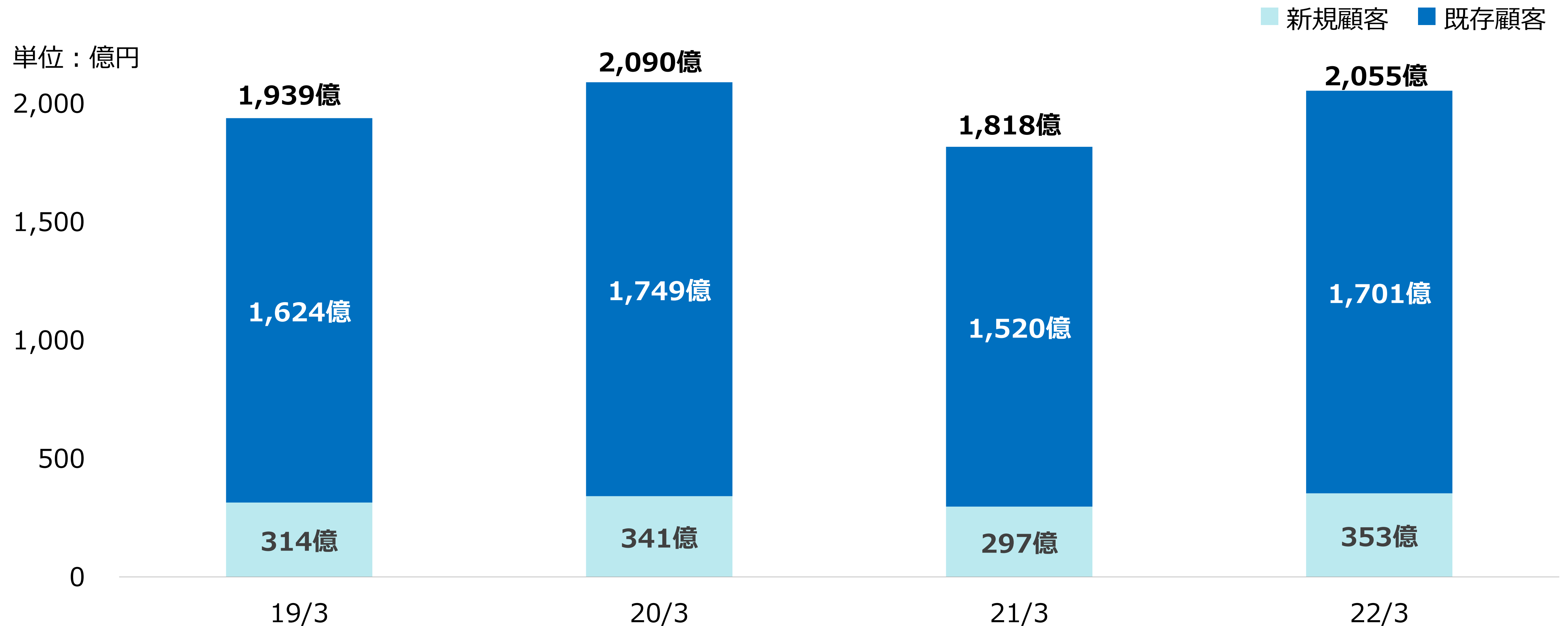
単位：百万円

単位：件



# ローン事業/貸付量（アイフル単体）

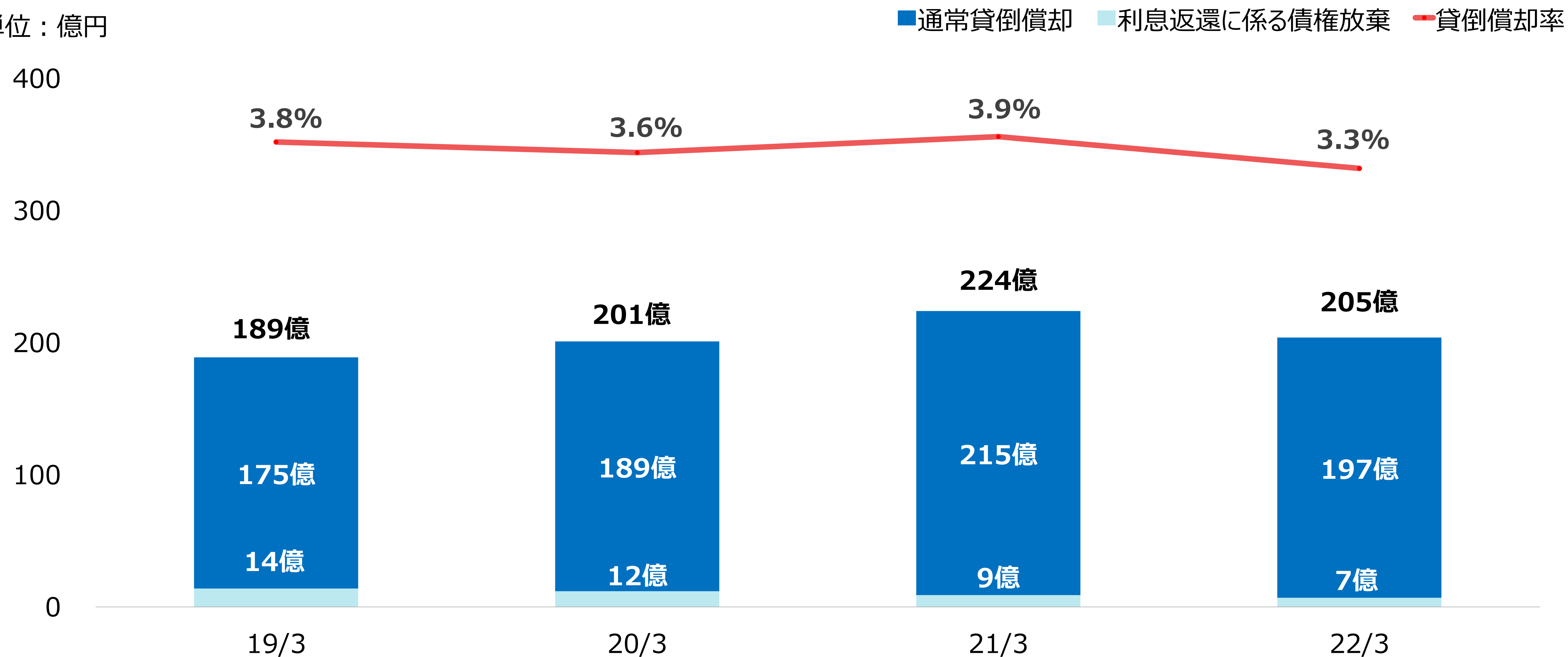
- 新型コロナによる資金需要の低下影響を受けた前期と比較して、貸付量は新規・既存いずれも回復
- 新規顧客への貸付量は前期比18.8%増の353億円、既存顧客への貸付量は前期比11.9%増の1,701億円
- 新型コロナ影響前の2020年3月期との比較では、新規・既存顧客ともに同水準の貸付量となっている



# 不良債権 / 貸倒償却 (アイフル単体)

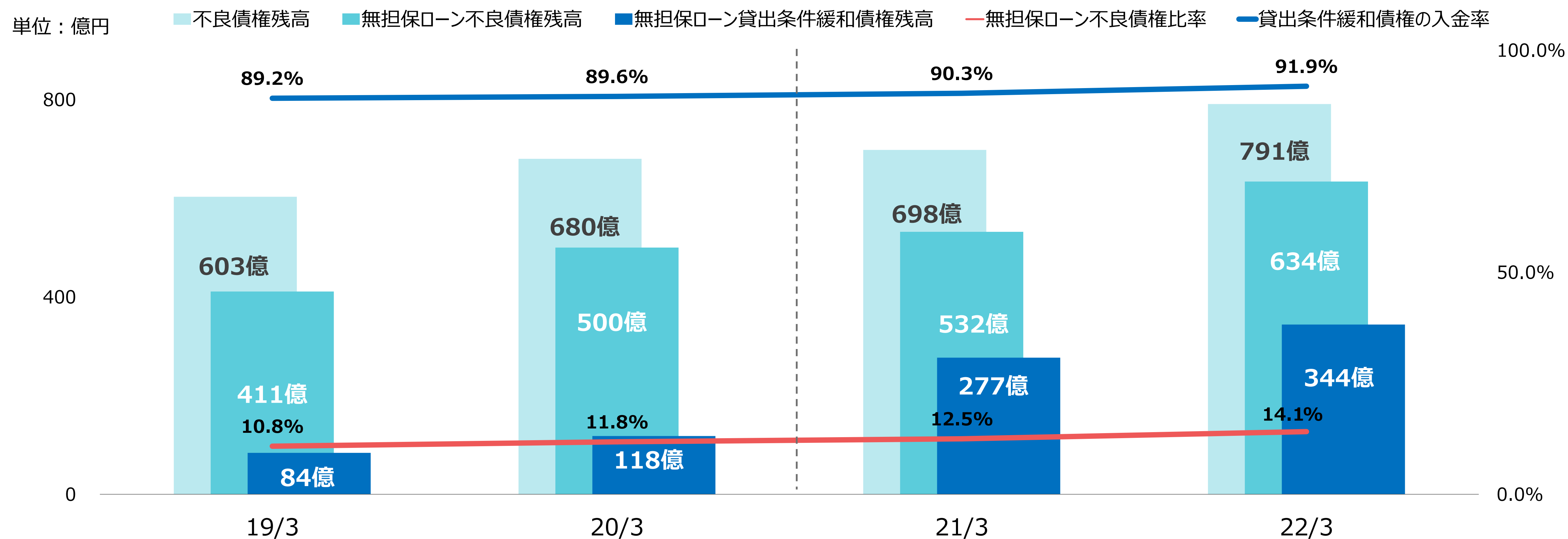
- 貸倒償却は前期比8.6%減の205億円、償却率は 3.3% と低位安定
- 貸倒償却の内、利息返還に係る債権放棄は7億円と低位で推移

単位：億円



# 不良債権/無担保ローン不良債権（アイフル単体）

- 定期的な入金が見込める和解債権（貸出条件緩和債権）の増加を主要因として、無担保ローン不良債権残高は前期比19.3%増の634億円、不良債権比率は1.6Pt増の14.1%となった



※1 2021年3月期第4四半期より、「延滞債権」に含めていた「定期的に入金がある和解債権」を、より実態に即した「貸出条件緩和債権」に含んでおります。

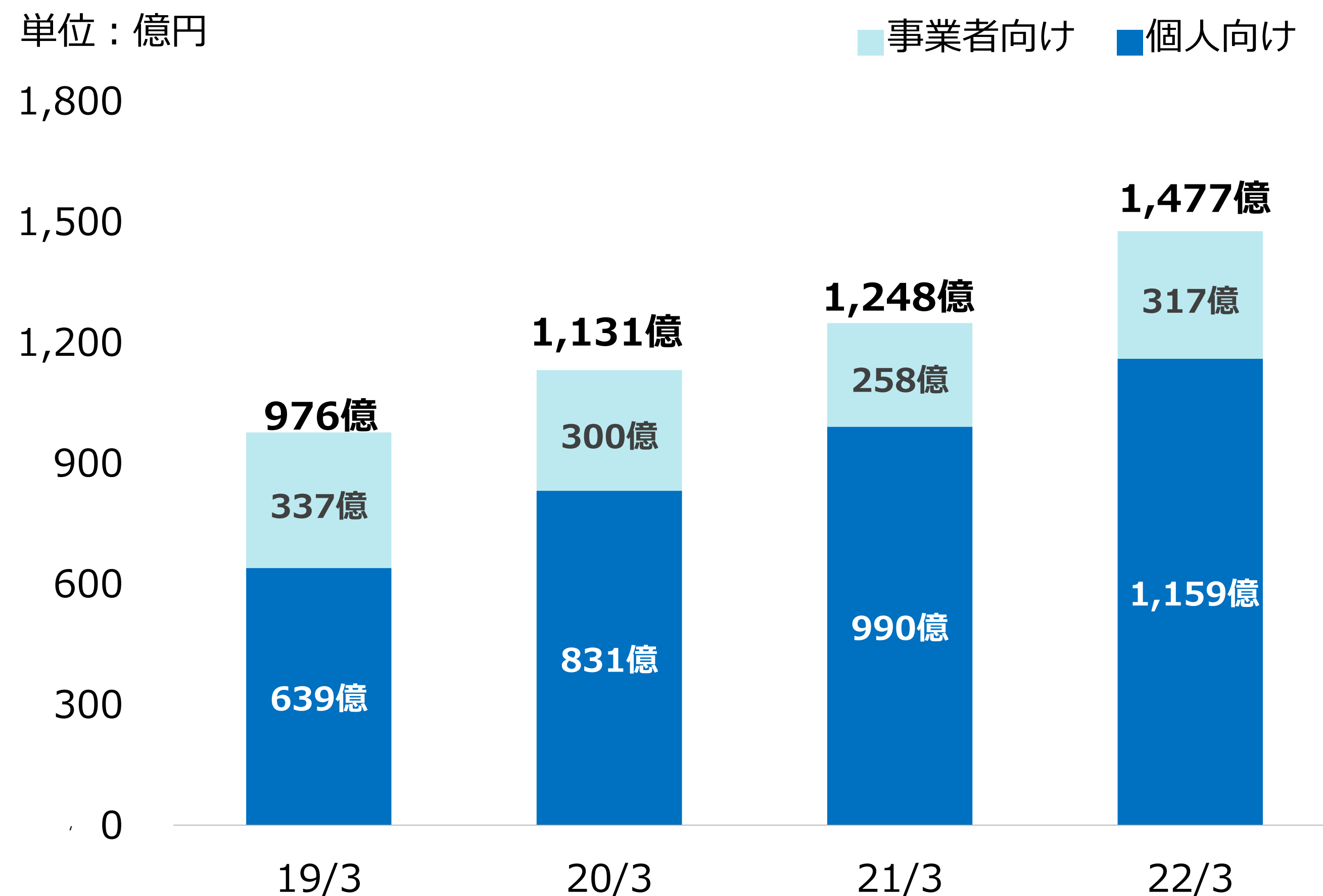
※2 2022年3月31日に「特定金融会社等の会計の整理に関する内閣府令」の「不良債権に関する注記」が改正されたため、同府令の改正後の区分等により表示しております。



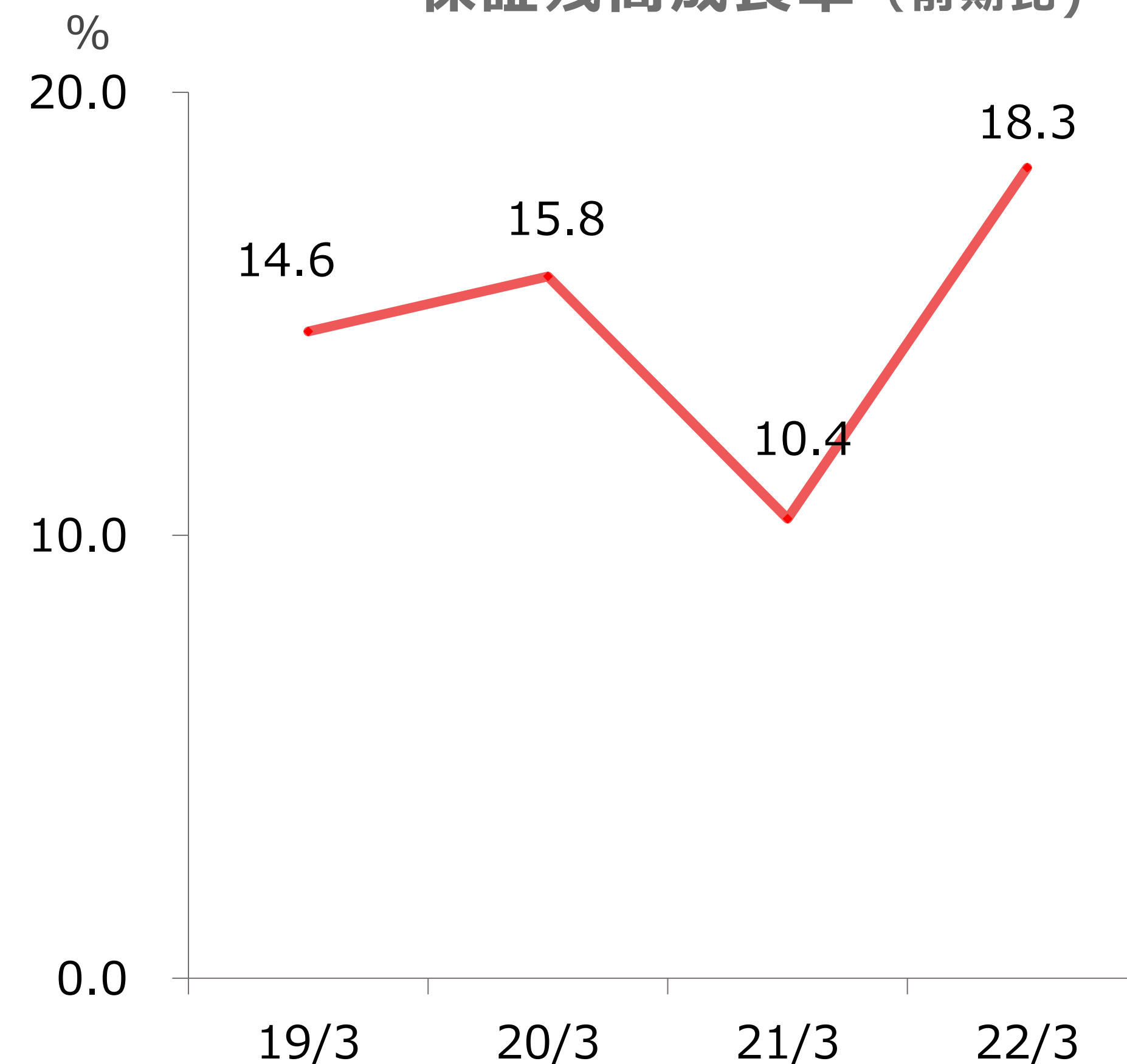
# 信用保証事業/個人・事業者向け保証残高（アイフル単体）

- 商品の多様化や提携先との関係強化に取り組んだ結果、前期比18.3%増の1,477億円

## 保証残高



## 保証残高成長率（前期比）

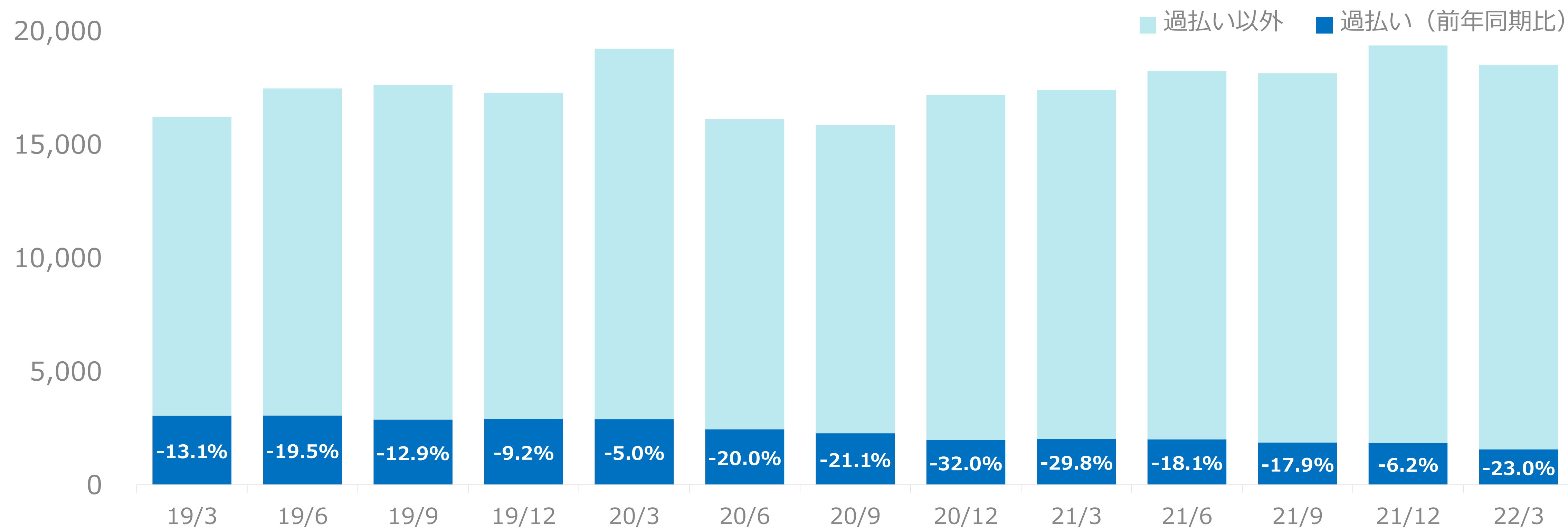


# 利息返還/弁護士等介入（アイフル単体）

- 介入入庫のうち過払いの対象となる介入過払いの入庫は前年同期比23.0%減少

## 弁護士等介入入庫数の推移

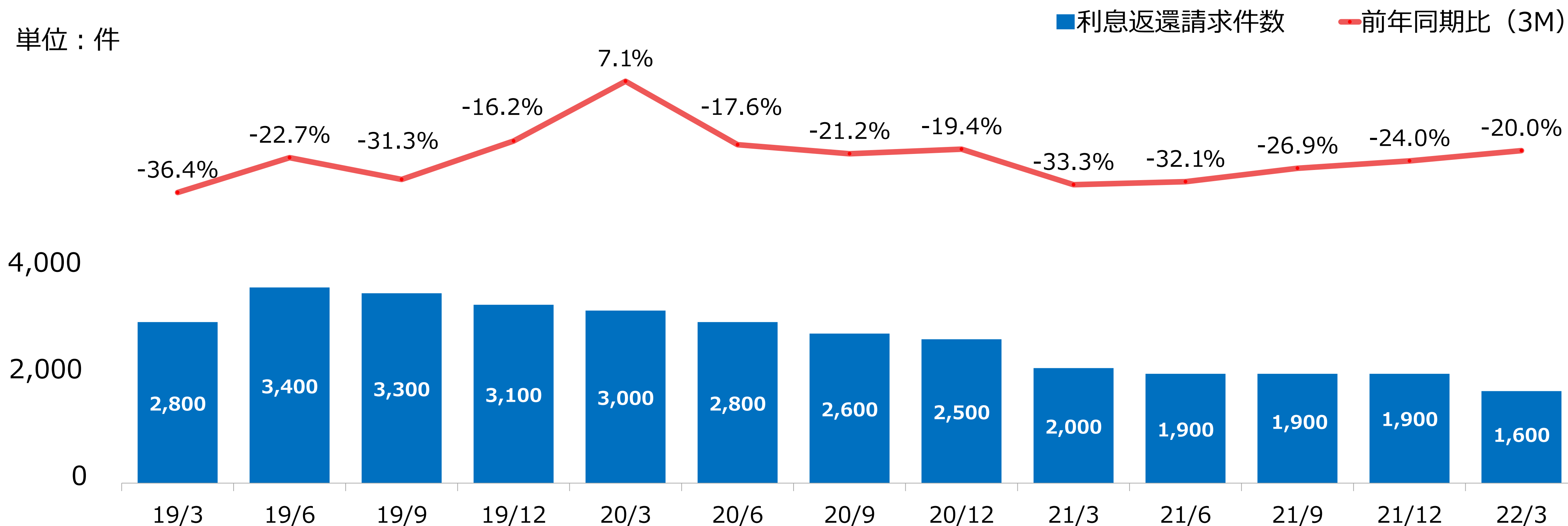
単位：件



# 利息返還/利息返還請求（アイフル単体）

- 利息返還請求件数は前年同期比（3か月合計）20.0%減の1,600件と引き続き減少傾向

## 利息返還請求

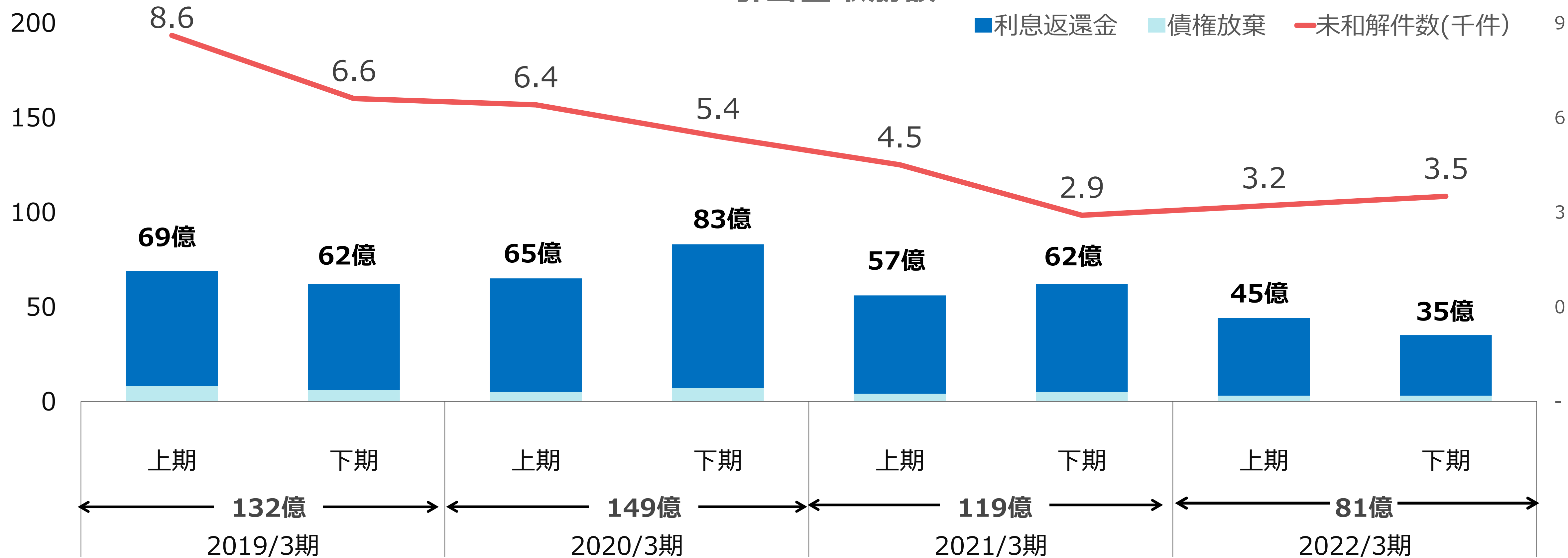


# 利息返還/引当金の取崩額（アイフル単体）

- 利息返還損失引当金取崩額は前期比31.8%減の81億円（うち利息返還74億円、債権放棄7億円）
- 積極的に和解を進めたことで未和解件数は低位で安定しており、2022年3月期では3,500件となった

単位：億円

## 引当金取崩額



# 利息返還/引当金の内訳（アイフル単体）

- 期首引当金残高138億円から発生額81億円（うち利息返還74億円、債権放棄7億円）を取り崩し、足元の状況を踏まえ180億円（うち利息返還172億円、債権放棄7億円）の追加繰入を実施した結果、期末引当金残高は237億円

## 利息返還引当金残高（単体）

単位：百万円	利息返還 損失引当金	債権放棄 引当金	合計
期首引当金残高	11,460	2,397	<b>13,857</b>
発生額（取崩額）	7,409	724	<b>8,133</b>
繰入額（戻入額）	17,283	741	<b>18,025</b>
期末引当金残高	21,334	2,414	<b>23,749</b>

## 参考：連結利息返還引当金残高

単位：百万円	利息返還 損失引当金	債権放棄 引当金	合計
期首引当金残高	12,913	2,737	<b>15,651</b>
発生額（取崩額）	8,248	866	<b>9,115</b>
繰入額（戻入額）	19,929	1,027	<b>20,957</b>
期末引当金残高	24,594	2,898	<b>27,492</b>



## 04 ライフカード決算概況



**Be Unique!**

**Be Unique!**を掲げ、  
ユニークなブランドポジションを目指す

# ライフカードの経営戦略

若年層への早期アプローチにより  
LTVを高める

学生  
専用



学生  
専用



ユニークな提携カードや法人カードに  
より稼働率UPを狙う

提携  
カード



法人  
カード



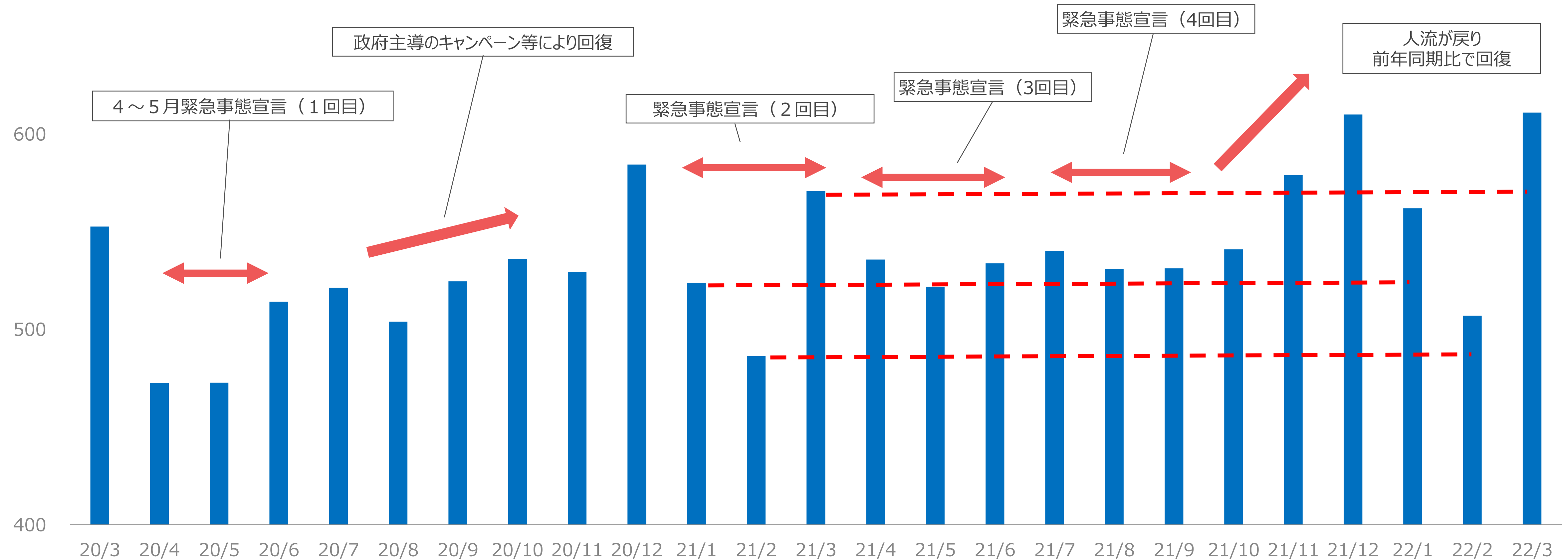
# 決算概要（ライフカード）

単位：百万円	21/3	22/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業収益	32,320	32,368	48	0.1%
信用購入あっせん収益	16,586	16,773	187	1.1%
営業貸付金利息	4,524	4,066	-457	-10.1%
信用保証収益	1,592	1,754	162	10.2%
その他収益	9,617	9,774	156	1.6%
営業費用	28,751	30,762	2,010	7.0%
金融費用	1,352	1,161	-191	-14.1%
貸倒関連費用	4,193	2,745	-1,447	-34.5%
貸倒償却率	2.4%	2.1%	—	-0.3pt
利息返還関連費用	—	2,645	2,645	-
広告宣伝費	110	1,141	1,031	934.5%
販売促進費	1,214	2,703	1,489	122.6%
人件費	4,631	4,808	176	3.8%
その他費用	17,248	15,555	-1,693	-9.8%
営業利益	3,568	1,606	-1,962	-55.0%
経常利益	4,248	1,800	-2,448	-57.6%
当期純利益	3,139	1,755	-1,384	-44.1%

# 月次買上実績（ライフカード）

- 緊急事態宣言解除ならびにWEBを中心とする新しい生活様式の浸透によりショッピング買上は回復傾向

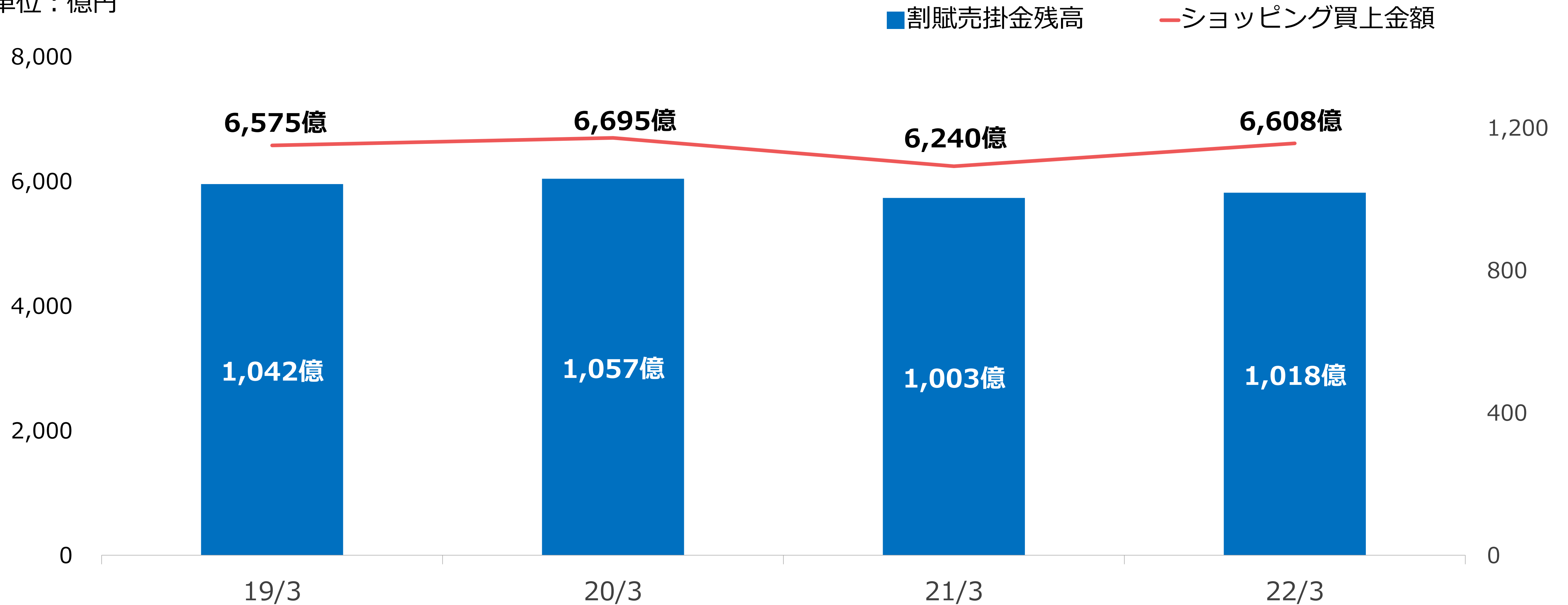
単位：億円



# 割賦売掛金残高（ライフカード）

- ショッピング買上の回復によって、割賦売掛金残高はコロナ影響前の2020年3月期と同水準まで回復

単位：億円



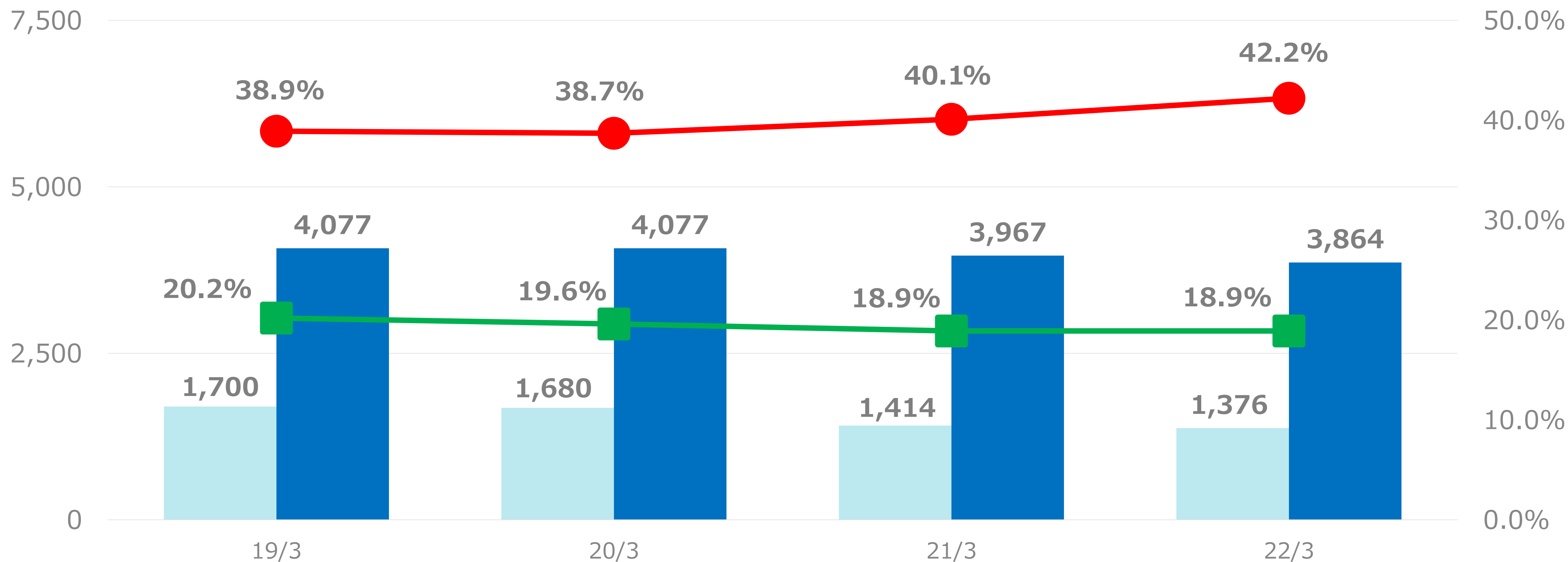


# 有効カード会員数・稼働率（ライフカード）

- 稼働重視の獲得手法の推進や、WEBサイト及びスマホアプリのリニューアルにより稼働率は42.2%に上昇

■ プロパーカード会員数   ■ 提携カード会員数   ● プロパーカード稼働率   ■ 提携カード稼働率

単位：千人

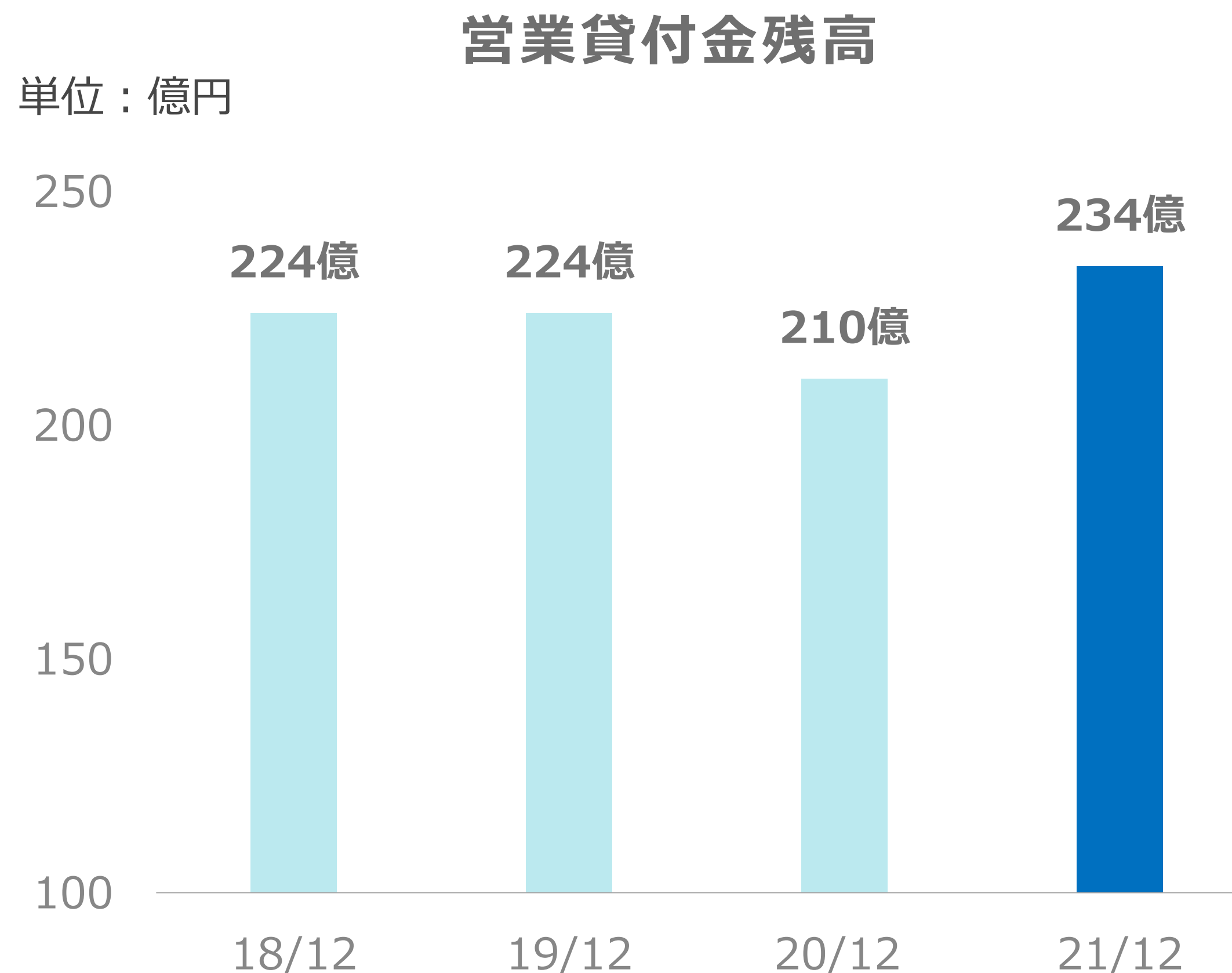


## 05 グループ各社決算概況

# AIRA&AIFUL (タイ王国)

- マクロ環境：堅調な輸出により、実質GDP成長率は第3四半期（2021年7～9月）のマイナス0.2%から第4四半期（10～12月）は1.9%と、プラス成長に転じた（タイ国家経済社会開発委員会）
- 債権ポートフォリオの良化に伴い貸倒関連費用が減少した結果、第4四半期（1～12月）における経常利益は4.6億円

単位：百万円	20/12	21/12	前期比 増減率
営業貸付金残高	21,068	23,418	11.2%
口座数（千）	329	330	0.3%
貸倒償却率	13.8%	8.7%	-
営業収益	5,957	5,725	-3.9%
営業利益	-118	461	-
経常利益	-131	463	-
当期純利益	-190	1,037	-



※A&Aは12月期決算のため、通期累計期間は1月～12月です。

※為替レート（タイバーツ）

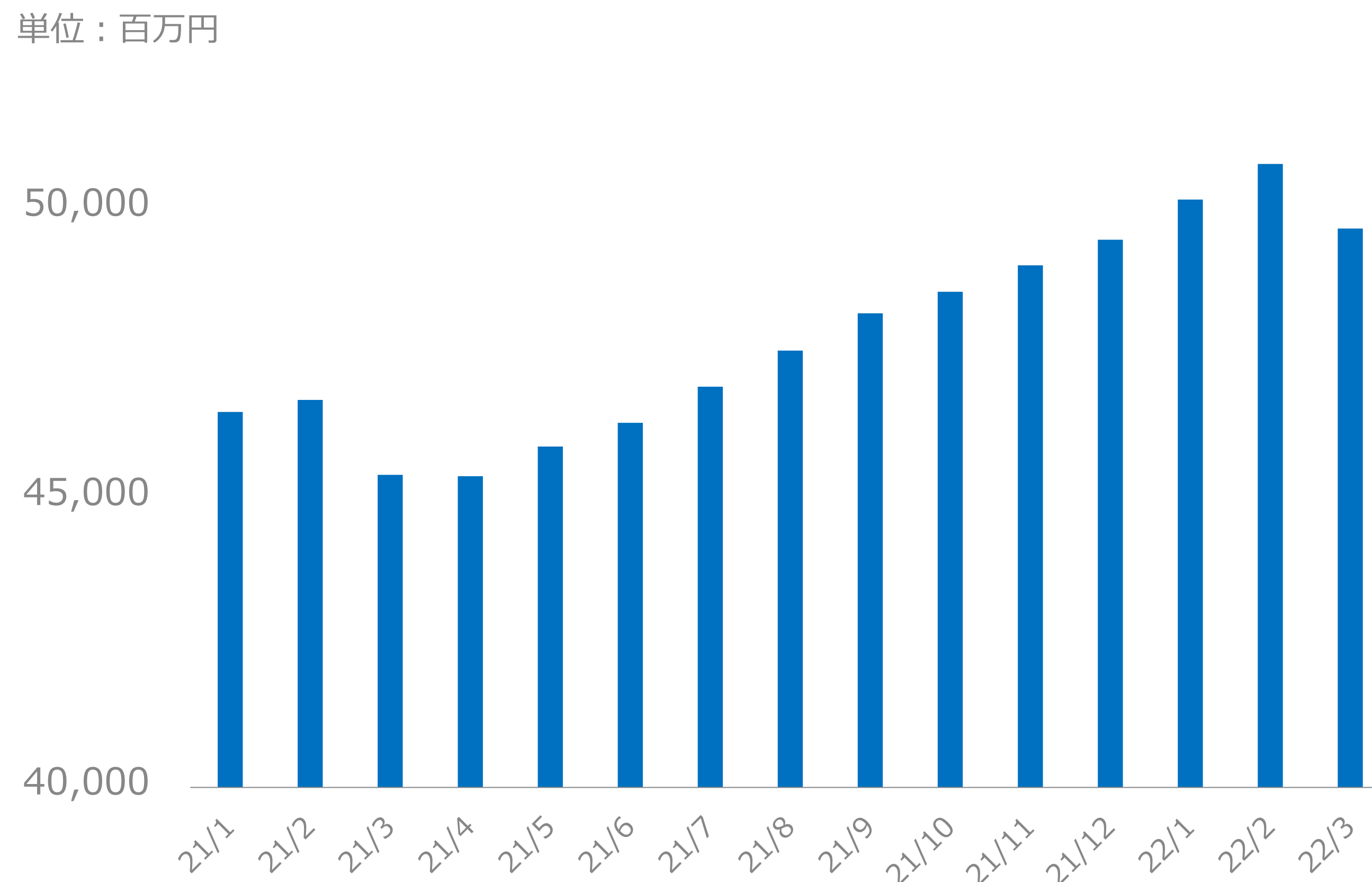
B/S：2020年度 3.44円、2021年度 3.43円 P/L：2020年度 3.42円、2021年度 3.44円

# アイフルビジネスファイナンス

- 事業者ローン残高は前期比9.6%増と回復基調
- 営業利益は貸倒関連費用、広告宣伝費の増加を主要因として前期比4.5%減

単位：百万円	21/3	22/3	前期比 増減率
営業貸付金残高	58,475	55,928	-4.4%
有担保ローン	13,466	6,578	-51.2%
事業者ローン	45,008	49,349	9.6%
口座数（千）	25	26	2.2%
貸倒償却率	3.0%	3.0%	—
営業収益	6,532	6,430	-1.6%
営業利益	2,894	2,762	-4.5%
経常利益	2,913	2,773	-4.8%
当期純利益	1,767	1,691	-4.3%

## 事業者ローン 残高月次推移



※ 診療報酬等担保ローン事業は2021年7月よりAGメディカル株式会社が承継しております。

## その他グループ会社トピックス

### AG MEDICAL

営業利益 1.5億円

経常利益 1.4億円

当期純利益 0.9億円

営業債権残高 82億円

事業開始時から27.4%増



営業利益 5.3億円

経常利益 5.3億円

当期純利益 3.7億円

割賦売掛金残高 147億円  
(前期比 +82.0%)

加盟店数 2,575店  
(前期比 +32.5%)



営業利益 -3.2億円

経常利益 -3.1億円

当期純利益 -3.0億円

買上 120億円  
(前期比 +50.6%)

加盟店数 433千店  
(前期比 +35.2%)

# 06 参考資料



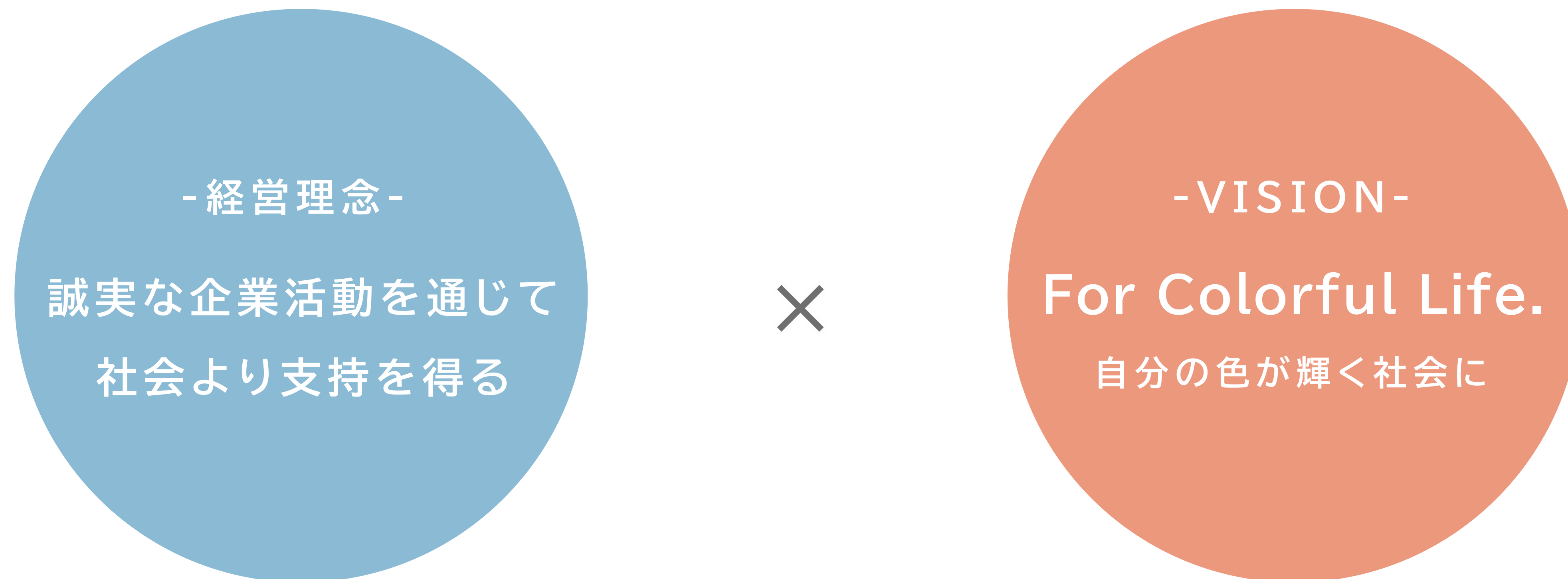
## 営業収益・営業費用（連結）

単位：百万円	21/3	22/3	前期比 増減額	前期比 増減率
連結営業収益	127,481	132,097	4,616	3.6%
営業貸付金利息	74,041	76,332	2,290	3.1%
信用購入あっせん収益	19,387	20,099	712	3.7%
信用保証収益	14,524	15,730	1,206	8.3%
買取債権回収高	1,523	889	-684	-43.5%
償却債権取立益	6,761	7,492	730	10.8%
その他の営業収益	11,193	11,553	359	3.2%
連結営業費用	109,950	120,855	10,904	9.9%
金融費用	7,248	7,041	-207	-2.9%
債権買取原価	1,141	—	—	—
貸倒関連費用	38,818	27,918	-10,899	-28.1%
利息返還関連費用	—	19,929	—	—
宣伝関連費用	9,821	14,590	4,768	48.6%
広告宣伝費	3,013	11,321	8,308	275.7%
販売促進費	6,808	3,269	-3,539	-52.0%
人件費	16,902	16,704	-198	-1.2%

## 営業費用・利益（連結）

単位：百万円	21/3	22/3	前期比 増減額	前期比 増減率
その他営業費用	36,016	34,670	-1,346	-3.7%
支払手数料	14,978	15,283	305	2.0%
通信費	2,925	3,035	109	3.7%
ポイント引当金繰入額	2,209	—	—	—
消費税	4,774	5,223	449	9.4%
減価償却費	3,418	3,417	-0	-0.0%
消耗品費・修繕費	2,651	2,562	-89	-3.4%
地代家賃	1,799	1,785	-13	-0.8%
賃借料	393	381	-12	-3.1%
営業利益	17,530	11,242	-6,288	-35.9%
営業外収益	1,928	1,058	-869	-45.1%
営業外費用	153	35	-118	-77.0%
経常利益	19,305	12,265	-7,039	-36.5%
特別利益	—	—	—	—
特別損失	1,156	—	—	—
税引前利益	18,149	12,265	-5,883	-32.4%
非支配株主に帰属する当期純利益	-642	703	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	18,437	12,334	-6,103	-33.1%

# サステナビリティ基本方針



私たちアイフルグループは、  
あらゆる人が自分らしくいられる未来を創造していくために  
「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指します。

# 主な取り組み一覧

重点課題	テーマ	主な取り組み・事業	関連するSDGs
環境面	脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー使用量の管理</li> <li>・クールビズ、ウォームビズの取り組み</li> <li>・COOL CHOICEへの賛同</li> <li>・業務効率化への取り組み</li> <li>・複合機の台数削減</li> </ul>	  
	資源循環の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の分別、リサイクル</li> <li>・緑の募金活動</li> <li>・グリーン商品、エコマーク商品の購入推進</li> <li>・カード明細のWEB化</li> </ul>	 
社会面	社会の期待に応える商品づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な資金ニーズに応える商品開発</li> <li>・お客様の声の収集とサービス品質の向上</li> <li>・AIFUL-CSIRT(サイバー攻撃対策チーム)</li> </ul>	
	職場および労働環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事大綱の制定</li> <li>・ハラスメントホットライン</li> <li>・従業員の意識、満足度調査の実施</li> <li>・健康診断、ストレスチェックの促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成制度の拡充</li> <li>・フレックスタイム制度</li> <li>・テレワーク、時差出勤の導入</li> <li>・防災訓練の実施</li> </ul> 
	ダイバーシティ推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラチナくるみん認定取得</li> <li>・女性採用の拡大</li> <li>・女性の育成、登用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年再雇用制度</li> <li>・障害者の雇用</li> </ul> 
	社会貢献・地域との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・献血活動</li> <li>・AED設置、救命講習</li> <li>・大規模災害に伴う寄付</li> <li>・新型コロナウイルス対策支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャリティーコースでポイント寄付</li> <li>・クレジットカードを通じた社会貢献</li> <li>・ハッカソンへの協賛</li> </ul>   

# アイフルグループの事業

事業の多角化により、全ての顧客ニーズに応えるビジネスの創造を目指します

ローン・保証



事業者ローン



クレジット・保証



後払い決済



クラウドファンディング



ベンチャーキャピタル



サービサー



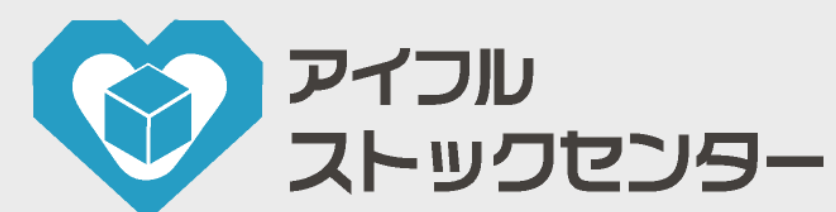
企業再生



リースバック



倉庫業



家賃保証



海外



## － 本資料に関する注意事項 －

本資料の数値のうち、当社グループの計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社グループが把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、実際の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性がありますのでご留意ください。